



七五三 (飛鳥神社)

目次

トピックス.....	2	住民福祉課便り.....	6
お知らせ.....	3	くじらの博物館便り.....	8
姉妹都市ブルームコーナー.....	4	保健衛生関係行事予定.....	10

大盛況！第27回太地浦くじら祭

11月4日（日）、太地漁港ふれあい広場で、第27回太地浦くじら祭が開催され、約3,000人の方々が会場を訪れました。

各種団体によるパレードや幼保の子どもたちによる踊り、鯨太鼓や鯨踊り等の伝統芸能披露、毎回人気の漁船パレード、青年会による「じゃんけん大会」等が行われ、会場は大いににぎわいました。

また、会場には多くの出展ブースが設置され、鯨料理や伊勢えびの味噌汁の振る舞い、姉妹都市の白馬村による物産展やそばの販売も行われ、それぞれのブースは大盛況でした。



平成24年度人権教育講演会を開催しました！

11月8日（木）、公民館で、太地町人権尊重推進委員会主催で、落語家の立花家千橋氏をお招きし「平成24年度太地町人権教育講演会」を開催しました。

講演会では、千橋先生の幼少期の実体験を取り入れた落語や人情落語を通じて、「人を思いやることの大切さ」を語り、とても心温まる講演となりました。



鯨類バリアフリー展示講演会を行いました！

11月10日（土）、くじらの博物館レクチャーホールで東京海洋大学大学院教授の加藤秀弘先生とかごしま水族館獣医師の大塚美加先生をお招きして、「鯨類バリアフリー展示に向けて」と題し、講演会を開催しました。

第1部では、加藤先生から同博物館で飼育されている腹びれのあるバンドウイルカはるかの研究プロジェクトの進捗状況の説明が行われ、第2部では、大塚先生から鯨類展示におけるバリアフリーの考え方と実践について、実際にかごしま水族館で行っている取り組みを紹介しながら説明していただきました。

最後に、加藤先生、大塚先生、太地町社会福祉協議会の岡本研事務局長、くじらの博物館の桐畑哲雄副館長、同博物館の中江環学芸員の5名で「太地町とバリアフリー展示～現状と将来～」と題し、パネルディスカッションを行い、それぞれの立場で太地町の現状と将来にむけての課題を発表しました。



お知らせ

太地いきいき情報コーナー

日曜・無料 遺言公証法律
相談のお知らせ

◇日時

平成24年12月16日(日)
平成25年1月20日(日)
午前9時～午後5時

(要予約、相談無料、秘密厳守)

◇場所 新宮公証役場

◇相談員

公証人 中村 司

◇相談内容 遺言、相続、離婚問題(子の養育費、年金分割、慰謝料、財産分与)、任意後見(高齢者等の財産管理)、土地建物の賃貸借、金銭の貸借、売買、贈与、債務弁済、その他各種の契約、尊厳死宣言、会社定款など

◇お問い合わせ

新宮公証役場 (Tel 21-2344)

中皮腫や肺がんなど、石綿による疾病の補償・救済について

中皮腫や肺がんなどを発症し、それが労働者として石綿ばく露作業に従事していたことが原因であると認められた場合には、労災保険法に基づく各種の労災保険給付や石綿救済法に基づく特別遺族給付金が支給されます。

石綿による疾病は、石綿を吸ってから非常に長い年月を経て発症することが大きな特徴です。

中皮腫などでお亡くなりになられた方が過去に石綿業務に従事されていた場合には、労災保険給付等の支給対象となる可能性があります。まずはお気軽に最寄りの都道府県労働局又は労働基準監督署にご相談ください。

制度のご案内は厚生労働省HPでもご覧になれます。ホームページ <http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roundou/gyousei/rousai/120406-1.html>

平成24年度戦没者遺児による慰霊友好親善事業の実施について

財団法人日本遺族会は、「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」の参加者を募集しています。

同事業は、厚生労働省から補助を受け実施しており、先の大戦で父等を亡くした戦没者の遺児を対象として、父等の戦没した旧戦域を訪れ、慰霊追悼を行うとともに、同地域の住民と友好親善をはかることを目的としています。

費用は、参加費として9万円です。

日程の詳細は、財団法人日本遺族会事務局 (Tel 03-3261-5521) までお問い合わせください。お申込は、お住まいの各都道府県遺族会へお願いいたします。

◇実施地域

・広域地域
①旧満州②旧ソ連③モンゴル(中止)④西部ニューギニア⑤中国(1次)⑥マリアナ諸島⑦東部ニューギニア(1次)⑧ボルネオ・マレー半島⑨トラック諸島⑩パラオ諸島⑪ソロモン諸島

⑫フィリピン(1次)⑬ミャンマー(1次)⑭台湾・バシー海峡⑮ミャンマー・インド(2次)⑯東部ニューギニア(2次)⑰フィリピン(2次)⑱中国(2次)
・特定地域
①西部ニューギニア②ビスマーク諸島③マーシャル・ギルバート諸島

NHK学園 生徒募集中

NHK学園では、通信制の高等学校普通科、および生涯学習通信講座の生徒・受講者を募集しています。まずは、無料の案内書をご請求ください。

◇募集内容

平成25年度高等学校普通科(3年制)生徒、および生涯学習通信講座受講者

◇出願期間

・高等学校普通科 推薦入学 平成25年1月18日～1月24日

・高等学校普通科 一般入学 平成25年1月25日～4月30日

◇生涯学習通信講座

通年申込受付

◇問い合わせ先
NHK学園 (Tel 042-572-3151) (代表)

成人式の開催について

◇日時 平成25年1月3日 午前10時30分

◇場所 公民館大集会室

◇対象者 平成4年4月2日～平成5年4月1日生

太地町出身で、正月に帰省し出席を希望される方は、12月13日までに太地町教育委員会にお申し込みください。

太地町選挙管理委員会からのお知らせ

第46回衆議院総選挙及び第22回最高裁判所裁判官国民審査の日程が左記のとおり決定しましたのでお知らせします。

◇公示日

平成24年12月5日(火)

◇投票日

平成24年12月16日(日)

◇期日前投票

小選挙区・比例代表選出議員
平成24年12月5日(水)～平成24年12月15日(土)

最高裁判所裁判官国民審査
平成24年12月9日(日)～平成24年12月15日(土)

2012
Version!!

We Love Broome!! ～姉妹都市ブルームのコーナー～

今回ご紹介する久原さんは、昨年もブルームへの訪問を希望していましたが、抽選で外れてしまいました。それでも行きたいという気持ちをあきらめずに、今年試験に再挑戦した結果、念願のブルームに行くことができました。1度は叶わなかったからこそ、ようやく自分の手でつかんだ経験を大切に味わうことができたのではないかと思います。ホームステイ先は、昨年太地を訪れたアビー・フォードさんのお家です。素敵なホストファミリーに囲まれて、貴重な時間を過ごしていました。

1度はあきらめたけれど

太地中学校3年 久原 可帆里

「今年は、もうやめとく…。」

私は、去年もこのブルームへの派遣を希望した。でも、惜しくも抽選でブルームへの切符を手にすることは出来なかった。その瞬間私は本当に、悔しかった。当時、私は、中学2年だった。他の2年生は全員行けるのに、自分だけ行けないという現実を受け入れたくなかった。その場では、笑顔を保っていたけれど、家に帰り、1人になった途端に、涙があふれてきた。

学校でも、ブルームの話聞くのは正直きつかった。気にしていないふりをしていたけれど、本当は、悔しくてブルームの話をしてほしくなかった。

なぜそこまで、悔しかったのかというと、それは、私はブルームに対して特別な思いがあるからだ。

今は亡き祖父が、ブルームでダイバーをしていたからだ。私は自分の祖父がダイバーであったことを、とても誇りに思う。だって、先生から聞いた話だけど、ダイバーの生死を決める命づなは、船の上にいる人が持っており、その人が手を離してしまえば、簡単にその人は死んでしまう。つまり、信頼関係がなければ、ダイバーは生きては戻って来られないということだ。生きて日本に帰って来られた祖父は、信頼されていたのだ。そう思うと嬉しいし、誇りに思う。

そして、今年。1次試験は全員合格。また抽選。私は、去年以上に緊張した。もし、また落ちてしまったらどうしようと心配だった。そして、抽選の日。みんなの表情からも緊張感が伝わってきた。

次は、私がかじを引く番。すごく迷った末に自分が選んだくじ。それを開いてみると、何か文字が書いてあった。この瞬間、私は泣きそうになった。この時、改めてあきらめなくて本当に良かったと思った。

ブルームというとても素晴らしい場所に行き、たくさんの人々と出会い、そして真珠業の大変さを改めて知ることができた。

ブルームに初めて行くのに、なぜか落ち着いた。それと、人々がとても優しかった。目が合ったら必ず笑顔で返してくれる。日本では、あまりないことだ。私は日本でもそうあってほしいなあと考えた。

私は、この10日間だけだけど、英語を完ぺきに話すことができなくても、伝えたいと思う気持ちがあれば、ボディランゲージでも、単語ばかりであっても、伝わるということを確認できた。そして、前よりもっと祖父がダイバーだったことに誇りを持つようになった。

私は、ブルームが大好きだ。将来もう1度ブルームに行きたいと思う。

本当にあの時あきらめなくて良かった。

だからみんなもあきらめずに、どんどんチャレンジして行ってほしい。そうすれば、自分がどうしたら良いのか、そして、自分の限界が分かると思う。

他の国の文化を知ることによって今まで分からなかったことが分かったりするのではないかなあと私は思う。だから私は、今回だけに限らずもっとどんどん外国に行きたい。そして、いつかは、完ぺきな英語を身につけたい。



写真左：ケーブル・ビーチでラクダに乗る森さんと久原さん（後ろが久原さん）

写真右：フォード・ファミリーと久原さん（最前列が久原さん）

次回も太地中学校の生徒の感想文を掲載します。

Good-bye till next month...



住民福祉課便り

なかよし体操を開催しています

現在、森浦集会所と東新集会所で、月2回なかよし体操を開催しています。

内容は、音楽にあわせた体操や、イスに座って行う筋力トレーニング、筋肉をゆっくりと伸ばすストレッチがメインです。また、ミニバランスボールを利用した運動も行っています。参加者の方からは、「ボールを使った運動が気持ちいい」「みんなとするから続けられる」という声が寄せられています。

年齢の制限はありません。どなたでも、お気軽にお越しください。

※循環器系疾患（特に心疾患）を持つ方や整形外科系の疾患を持つ方、関節の痛みを持つ方は、かかりつけの医師にご相談ください。



▲ボールを使った運動も行っています。

<開催日時>

東新集会所 毎月第1・3月曜日 午後1時30分～3時00分

森浦集会所 毎月第2・4月曜日 午後1時30分～3時00分

※祝祭日と重なる場合などは日程を変更することがあります。

開催日は広報たいじ最終面にも記載していますのでそちらをご覧ください。

<持ち物> ◎タオル（体操で使用します） ◎水やお茶

<参加費> 無料

事前申込は必要ありません。当日に直接お越しください。

【体操に関するお問い合わせ】

太地町地域包括支援センター

☎59-2335

（太地町役場 住民福祉課内）

第64回人権週間 みんなで築こう人権の世紀 ～考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心～

12月10日は「人権デー」です。1948年のこの日「世界人権宣言」が国連で採択され、今年で64年目を迎えました。世界中の全ての人はみんな同じ人権を持つ、かけがえのない存在です。それぞれの個性や生き方の違いを大切に、すべての人の人権が尊重される豊かな社会をつくりましょう。

【主な人権週間中の行事】

人権のつどい

開催日時：平成24年12月8日（土）

午後1時30分～午後3時50分

内 容：

1部 「第32回全国中学生人権作文コンテスト」

和歌山県大会表彰式と作文の朗読

（午後1時30分～午後2時40分）

2部 トーク&コンサート「心、元気に」新井深絵（ゴスペルシンガー）

和歌山県大会表彰式と作文の朗読

（午後1時30分～午後2時40分）

定 員：350名 参加方法：事前申込み

申込み先：那賀振興局総務県民課（☎0736-61-0006）

その他：・一時保育（事前申込み要） ・手話通訳

・要約筆記あり ・駐車場は、会場前にあり

◆困りごと、心配ごとでお悩みの方は、

人権擁護委員か、下記の人権相談窓口までお気軽にお電話ください。相談は無料で、秘密は守られます。

●受付時間：月曜日～金曜日

（12月29日～1月3日・休日を除く）

午前8時30分から午後5時15分まで

●電話による人権相談窓口

・子どもの人権についての専用相談電話

子どもの人権110番 0120-007-110

・女性の人権についての専用相談電話

女性の人権ホットライン 0570-070-810

・上記以外の専用相談電話

みんなの人権110番 0570-003-110

高齢者・障がい者あんしん電話相談

弁護士が、和歌山県内にお住まいの高齢者（満65歳以上）・障がい者ご本人、その家族や生活支援者（福祉関係者等）のお悩みに電話でお答えします。まずはお電話でお申し込み手続きをしてください。

受付時間：平日午前10時00分～午後4時00分〔正午から午後1時を除きます〕

相談料：無料

申込み先：和歌山弁護士会（よろうご）

☎073-425-4165（受付）

相談内容：

消費者被害、遺言・相続、成年後見、財産管理、虐待等なんでもご相談ください。（ただし、相談は1案件につき1回のみとなります）電話による相談時間は30分以内となります。担当弁護士が、さらに時間を要すると判断した場合には、有料の面談相談・出張相談をお勧めすることがあります。

（この場合でも法テラスの援助制度利用により無料となる場合があります。）

【お問い合わせ先】和歌山弁護士会 TEL：073-425-4165 FAX：073-436-5322

〒640-8144 和歌山市四番丁5番地

WEB：<http://www.wakaben.or.jp/index.html>

① まずは左記受付電話番号にお電話ください。

② ①にて、担当弁護士が折り返しお電話するのにご都合のよい電話番号をお伝えください。

③ 受付後3営業日以内に担当弁護士が②の電話番号にお電話を差し上げご相談をお聞きします。



認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座とは、認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を応援していくための講座です。各団体・お友達同士・企業などの会合にお伺いし「認知症について」わかりやすい講座を無料で開催しています。

講座を受けた方は「認知症サポーター」に認定され、認知症を支援する「目印」として、**オレンジリング（フレスレット）**が交付されます。



オレンジリング

認知症サポーターは何か特別なことをする人ではありません。講座を通じて認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り応援していくボランティアのことです。サポーターには自分のできる範囲で活動していただきます。たとえば、友人や家族にその知識を伝えたり、商店・交通機関・まちで働く人として、できる範囲で手助けをするなど、活動内容は人それぞれです。

平成24年9月30日時点で、全国の認知症サポーターは3,631,903人になり、**360万人**を達成しました。太地町ではこれまで70名の方が受講されています。

■養成講座の申込み

日時・場所についてはご相談ください。

内容：認知症について、支援の方法、接し方、サポーターに出来ること。

講師：キャラバン・メイト（認知症サポーターの講師役で所定の研修を修了した人です。）

対象：企業・団体・サークル・学校・友人同士のグループ等どなたでも申込みいただけます。

人数：少数の場合はご相談ください。時間：70～90分（時間の変更は可能ですのでご相談ください。）

料金：無料（受講された方にはテキストとオレンジリングをお渡しします。）

＜講座を希望される団体等は、役場住民福祉課（☎59-2335）までご連絡下さい。＞



▲前回の養成講座の様子

「男の人の料理教室」と「口腔機能向上教室（歯あわせ教室）」のご案内

右記の日程で「男の人の料理教室」と「口腔機能向上教室（歯あわせ教室）」を同日開催します。料理教室では、簡単でお気軽につくれるメニューを用意しています。料理がはじめての男性も大歓迎です。

その後の口腔機能向上教室では、歯科衛生士による30分程度の講話を予定しています。口腔機能向上教室のみのご参加でも構いません。なお、口腔機能向上教室は女性もご参加いただけます。

【献立（予定）】押し寿司・すまし汁・揚げだし豆腐

日時・・・平成24年12月14日（金）10:00～13:00

※口腔機能向上教室は12:30～13:00を予定しています。

場所・・・太地町公民館 調理室および和室

参加費・・・500円（※料理教室参加者のみ）

各自持参・・・エプロン、三角巾、手拭きタオル、お米1合（※料理教室参加者のみ）

参加申込・・・**12月7日（金）**までに役場住民福祉課または、地域包括支援センターへご連絡ください。

（☎59-2335 担当：浪・清原）

多くの方のご参加
お待ちしております！





「カムイギリ」

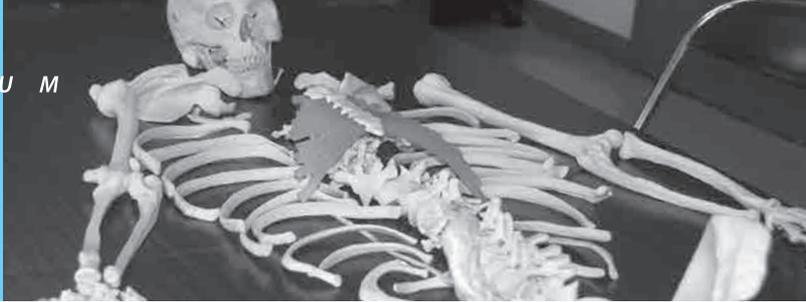
Kamuy-giri

北 海道余市地方のアイヌの人々が製作した「カムイギリ」という木製の祭祀器具を拝見する機会がありました。海の神として崇められていたシャチが表現されており、豊漁を祈る儀礼に使われたそうです。

余市水産博物館は、由来が不明ながら明治期に実際に使われていたと考えられるカムイギリ一点と、調査に基づいて復元されたレプリカ一点を所蔵しています。「カムイフンベ」と呼ばれたシャチに、その配下にあるという7種類の海の生き物が吊り下げられています。左からニシン、サケ、マグロ、サメ、アザラシ、イルカ、クジラという順番です。カムイギリは集落の指導者の家に飾られ、ある時期が来ると裏返して左右の向きを変えたそうです。

ニシンやサケは、産卵のために決まった季節に大群をなして沿岸部に現れます。カムイギリを作った人々は、ニシンやサケはシャチによって沿岸に追い込まれてくると考えていたようです。つまりカムイギリは、海の幸を従えて人間のものとやってくる海の神様の姿を表現しているのです。

豊漁をもたらすエビス様は、その絵や像を見ると、たいていはタイを抱えています。考え方としては、カムイギリと似ているといえるのではないのでしょうか。神が海の幸をもたらす姿を具体的に目に見える形で表現することで、実際にそのような喜ばしいことが起こることを期待する一種のおまじないと考えられます。



くじら学習

くじらの博物館で「骨ほねウォッチング」

博物館にはいろいろなものが収蔵されています。施設が異なれば、その収蔵資料の種類や数も大きく違ってきます。そのため、博物館同士で資料を貸したり借りたりすることで、幅広い収蔵品の中から特別展や企画展をつくるのが可能になるわけです。近年では、収蔵資料だけでなく、学習教材を貸し借りすることもあります。優れた学習教材を製作するには、莫大な予算や時間がかかります。しかし、必要なときに必要なものだけを借りることができれば、低コストで効果的な学習プログラムを提供することが可能になるのです。

当館のような小規模博物館にとってこのようなシステムは非常にありがたく、頻繁に利用しています。その1例をご紹介します。今回お借りしたのは、国立科学博物館所蔵の学習教材「骨ほねウォッチング」。連結せずにバラバラの状態のヒトの骨格標本(実物大レプリカ)を使って、骨を正しい向きや位置で並べることで、ヒトの体のつくりを学習できるよう工夫された教材です。これは、小学校の授業要領に沿って開発された教材で、4年生理科の「人の体のつくりと運動」という単元と連動しています。

11月13日(火)、「骨ほねウォッチング」に参加するのは、太地小学校4年生20名。くじら学習の一環として、ヒトとイルカの体のつくりについて学習しました。まずは、どれだけ自分の体のことを知っているか、ワークシートに骨の予想図をつくることから授業は始まります。子どもたちは自分の体に触ってみたり、友達の体を観察したりしながら予想図をつくっていきます。



図1

す。じっくり考えると「あれ?ここってどうなってるんだろう?」とわからないところもでてくるようで、戸惑う子どもたちもちらほら…。わからない所には「?」マークをつけてもらうよう指示をして、なんとか思い思いの予想図を完成させることができました(図1,2)。

次に登場するのが、学習教材「骨ほねウォッチング」の人体骨格模型たち。子どもたちは友達と協力しながら、バラバラの状態の骨を組み立てて、人の形にしなければなりません。



図2

男の子チームと女の子チームに分かれた子どもたちは、「すごい」「気持ち悪い」と歓声をあげ、脊椎骨(背中中の骨)を上下逆さまにしたり、膝蓋骨(ひざのおさら)を耳の骨と間違えたり、足と手の骨を逆にしたり、骨を自分の体に当てがいがながらどの部分の骨かを推測したり、楽しそうに試行錯誤していました(図3)。

活動が停滞するところに、ヒントとして人体全身骨格標本を出すと、子ども達は標本と見比べながら間違いを修正し、わからない点を解決しました(図4)。子ども達だけでは気づきにくい左右の違いや骨の向きといった細かい点も、学芸員が簡単なヒントを出すだけで正しい位置へと直すことができました。

今回の授業では、小学4年生には組み立ての難しい部分もあったので、「今まで知らなかった体の骨のつくりを知ってもらおう」ということを重視して、組み立ての正確さや完成度はあまり重視しませんでした。しかし、子どもたちは集中力をきらすこともなく「ここはこれであって?」、「ここはこうやんな?」と積極的に質問し、正しい形に完成させることに努力してくれました。骨にもよく触ってくれたようで、最後に書いた完成図では、骨の形や数までしっかりと書き込まれていて、子どもたちの観察力の鋭さに驚かされました(図5)。



図3



図4

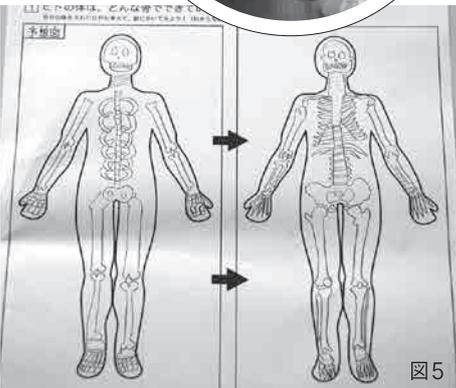


図5

「予想と全然ちがった」、「思ったより、骨の数が多くてびっくりした」、「あたまの骨と背骨をつなぐ骨があるのはしらなかった」など、子ども達それぞれに感じた大きな発見をたくさん感想に綴ってくれていました。

最後にカマイルカの全身骨格標本を観察し、ヒトと同じ部分、異なる部分を確認して授業は終了。カマイルカの骨にも子ども達は興味をもってくれた様子で、「イルカの骨も組み立ててみたい」といつてくれた子もいました。

このように貸出用学習教材を利用することで、子ども達の「見る、知る、発見する」という体験を効果的にすることができます。くじらの博物館では、現在このような教材の開発に取り組んでいます。でき上がった暁には、ぜひ幅広い方々に利用して頂き、「見る、知る、発見する」という素晴らしい博物館体験を経験して頂きたいと思います。

《保健衛生関係 12 月行事予定》

子育て支援関係

月 日	事業名	時間	場 所
12月 6日 (木)	ちびっ子ひろば	10:00～11:00	ふれあいルーム
12月13日 (木)			

健康相談

月 日	事業名	時間	場 所
12月 5日 (水)	乳幼児身体計測	11:00～11:30	多目的センター
12月12日 (水)	成人健康相談 (血压測定)	10:30～11:30	公民館
		13:00～13:30	平見集会所
		14:00～15:00	老人憩の家
12月17日 (月)	成人健康相談 (血压測定)	15:00～15:30	森浦集会所

健診

月 日	事業名	時間	場 所
12月 6日 (木)	10ヶ月児健診	13:00～13:10 (受付)	那智勝浦町健康福祉センター
12月27日 (木)	4か月児健診	13:00～13:10 (受付)	那智勝浦町健康福祉センター

健康教育

月 日	事業名	時間	場 所
12月 3日 (月)	なかよし体操	13:30～15:00	東新集会所
12月17日 (月)			
12月10日 (月)			森浦集会所
12月17日 (月)			
12月14日 (金)	男の人の料理教室	10:00～13:00	公民館
	歯あわせ (口腔機能向上) 教室	12:30～13:00	

—白馬からお便り— 【姉妹都市「白馬村」コーナー】

冬の白馬

11月14日の朝は全国的に今季一番の冷え込みとなり白馬では平地でも5cm程度の積雪となりました。まだまだスタッドレスタイヤに履き替えていない家庭も多く、予期せぬ積雪に朝は村内各所でてんやわんやでした。

ただこの季節の平地の雪は「根雪」となることが少なく1週間程度で消えてしまいます。今年白馬村スキー伝来100周年目のシーズンとなります。いよいよ「冬の白馬」スキーシーズンが目前に迫ってきました！



住民基本台帳

(平成24年10月末日現在)

総人口 3,397人

男 1,547人

女 1,850人

世帯数 1,654世帯

(前月比: 総人口 1人減)

世帯数 3世帯減)

～お食事のご案内～

- ※ 昼食 11時～14時
- ※ 夕食 17時～19時30分
- ※ 宴会・折詰・弁当・おまぜ等

お気軽に御利用ください

国民宿舎 白鯨
TEL 59-2323

